

# 平成 3 1 年度 村上市施政方針

平成 3 1 年村上市議会第 1 回定例会の開催にあたり、新年度の市政運営における私の所信を申し述べ、議員各位並びに市民の皆さまのご理解、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## ■ はじめに

さて、本市は昨年合併 1 0 周年の節目を迎えました。一つの村上市をつくるために様々な課題を乗り越えながら、ご尽力いただいた関係者の皆さまに改めて深く感謝申し上げます。それと同時にこの 1 0 年を振り返り、成果を踏まえて改善や見直しの必要はないかを十分見極めなければならないと強く感じているところであります。

とりわけ、人口減少という大きな課題に対しては、平成 2 7 年に村上市総合戦略を策定して対策を講じてきたところでありますが、予測値よりも若干緩やかとなったものの、本市の人口は合併時から約 9 千人減少し、今後その影響について引き続き注視していかなければならない状況にあります。

しかしながら、様々な取り組みの成果も確実に見えてきております。一例を申し上げますと、昨今、様々なメディアから本市の観光や物産のことを取り上げていただくようになってきており、ふるさと村上応援寄附金やお礼品による物産振興などに大きく貢献しているほか、本市の魅力や発信力が大きく高まり、市民の誇りの醸成につながっていると強く感じるところであります。これは、これまで数々のプロモーションなどを関係者の方々と粘り強く講じてきた成果であると考えており、今後も本市の強みを活かしつつ、市全体の好影響に結び付けることができるよう、持続成長する村上市を目指しながら、次の時代を見据えた取り組みを進めてまいります。

それでは、本年度の予算規模でございますが、一般会計総額 3 2 5 億 6 千万円で、昨年度を 1 7 億 1 千万円下回る予算となっております。主要財源は、市税で 6 4 億 9 千万円、地方交付税で 1 2 4 億円、国県支出金で 4 3 億 9 千万円、市債で 2 6 億 8 千万円を見積りました。

歳出予算におきましては、継続事業である荒川地区公民館建設事業及び厚生連村上総合病院移転新築に向けた周辺道路整備事業、厚生連村上総合病院の移転新築に対する補助金や、新規事業といたしまして、介護基盤整備事業、小学校統合に係る西神納小学校校舎改修工事経費、さらに本年度から創設されます森林環境譲与税（仮称）を活用した各種事業を計上したほか、将来に向けて持続可能な行財政運営を確立するため、事務事業見直しを行いながら総合戦略に基づく各種事業の選択と

集中を図った予算を計上いたしております。

続きまして、主要事業の取り組みにつきまして、本市総合計画の基本目標に沿ってご説明申し上げます。

## ■ いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり

それでは、「いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり」についてであります。本市の健康増進と医療体制の充実につきましては、健康づくりの基本計画となる「健康むらかみ21計画」及び「村上市食育推進計画」について、中間評価を行い改定した計画に基づきながら、市民の健康寿命の延伸に向けた生活習慣病対策や歯の健康に対する効果的な保健事業を実施してまいります。

また、地域医療体制の充実については、圏域の基幹病院となる村上総合病院の移転新築事業への支援や県立坂町病院の活性化を図るとともに、本市独自の医学生への修学資金支援制度や医療従事者の確保策を関係機関と連携して取り組むことによって、必要な地域医療資源の確保に努めてまいります。なお、地域医療の在り方につきましては、私が全国市長会の地域医療確保対策会議の委員となっておりますので、地域医療や医師確保の現状などについて積極的な発言や協議を行い、国の制度改正などに結び付くよう努めてまいりたいと考えております。

国民健康保険については、制度改正による県単位化に伴う作業を順次進めるとともに、後発医薬品の利用啓発や疾病予防事業の展開により、医療費適正化の取り組みを粘り強く進めてまいります。

子育て環境の充実につきましては、子どもの健やかな成長発達と子育て世代への切れ目のない支援体制を強化するために、「こども課」を新設します。

本年10月から国が幼児教育・保育の無償化を実施することに伴い、保育ニーズの一層の高まりが予想されますので、民間事業者とも連携を図りながら保育を必要とする子どもの受け入れ体制の確保に努め、子育てと就労の両立を支援してまいります。

また、施設整備につきましては、子育て世代から意見が多く寄せられております「休日などに親子で遊べる場所」について、閉校となる学校を利活用することで検討を進めているほか、保育園や小中学校の冷房設備を整備することなどで、保育環境と学習環境の改善を進めてまいります。

次に、高齢者の健康と安心な暮らしづくりについてであります。

現在、本市高齢化率は37%を超えており、今後は高齢者数の増加に伴い、これまで以上に医療や介護のニーズが高まると推測されます。若い世代からの健康に対する意識を高め、疾病の早期発見や健康寿命の延伸、医療や介護の人材確保など、

包括的に対策を講じながら、将来を見据えた高齢者の安心づくりを進めてまいります。

また、高齢になっても元気に活躍できるように、生きがいづくりと社会参加を促しながら、総合型スポーツクラブや新潟リハビリテーション大学などと連携し、疾病予防や介護予防事業を進めるとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活することができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。

新年度においては、軽度の要介護認定者に対して効果的な機能改善や自立支援を行うため、「地域ケア個別会議」を開催しながら、より充実した支援となるよう努めてまいります。

今後、増加すると予測される認知症高齢者につきましては、成年後見制度の利用促進を図るとともに、介護する家族への支援や市民が認知症に関する理解を深めてサポートする体制づくりなどを進めてまいります。

障がい者福祉の推進につきましては、第3次村上市障がい者計画等に基づき、地域で安心して暮らせる環境整備や障がい福祉サービスの充実を関係事業所などの協力を得ながら取り組んでまいります。

また、昨年度から子育てに役立つ応援ツールとして「ぱすのーと」を作成しました。特にアレルギーやてんかん、発達障がいなど支援が必要な方は「青い支援ノート」を使うことにより、成育歴等の情報を確実に引き継ぎ、生涯を通して切れ目のない支援を受けられるよう取り組んでまいります。更に、保護者自身が障がいの特性を理解し、適切な行動ができるよう「ペアレントトレーニング」を継続して実施してまいります。

総合的な福祉の推進につきましては、近年、高齢、障がい、生活困窮などの複合した課題を抱えた相談が増えてきており、分野を超えた総合的な連絡調整等を円滑に行う必要があります。このため、福祉課に総合相談窓口を新設し、家族に対する包括的な相談支援を進めてまいります。

また、虐待、不登校、引きこもりなどについては、問題がより複雑・深刻化する状況の中で、家庭相談員や保健師、民生委員、教育委員会などとの連携を深め、問題解決への支援を行ってまいります。

## ■ ひと、まち、自然が調和する、美しい定住のまちづくり

つづきましては、「ひと、まち、自然が調和する、美しい定住のまちづくり」につきまして、本年度の主な取り組みについてご説明いたします。

はじめに、本市の環境政策についてであります。その基本指針となる「第1次村上市環境基本計画」が2020年度で計画期間を終えることから、第2次計

画策定の準備を進めることとしております。平成 31 年度には「新潟県の名水サミット in 村上」を新潟県と共催で実施するほか、「環境フェスタ」の開催などにより、本市の環境保全に関する意識啓発を図ってまいります。

また、新エネルギーの推進につきましては、新たに地球温暖化対策に係る協議会を設置し、本市の環境やエネルギー施策に意見を反映させるとともに、再生可能エネルギーの利用や二酸化炭素排出の抑制を推進してまいります。新エネルギーのひとつである洋上風力発電につきましては、「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」により、今後は国の主導で進められることとなりましたので、本市が先進的に培ってきた知見を活かしつつ、県などと協力した取り組みを進めてまいります。

生活衛生の向上につきましては、一層のごみの減量化や資源化を目指し、資源ごみ収集体制の改善や収集回数の見直しを行い、収集の統一化を進めてまいります。

公害の防止につきましては、臭気測定や水質検査による監視と指導を継続するとともに、問題となる施設には設備の改善や臭気の軽減対策が実施されるよう関係機関と連携して取り組んでまいります。

公共下水道事業においては、仲間町地内の国道 7 号沿線で管渠整備を引き続き実施するほか、持続可能な下水道事業の運営を見据えて日本下水道事業団と共に進めてきた「ストックマネジメント計画」に基づき、村上浄化センターの改築更新工事に着手するほか、集落排水事業におきましても、中浜処理場で機能強化工事を実施するなど、各施設の長寿命化を図ってまいります。

また、下水道への接続や水洗化率の向上を図るため、引き続き普及啓発活動を行い、市民の下水道への理解が深まるよう努めてまいります。

上水道及び簡易水道事業につきましては、昨今頻発する自然災害に備えるためにも、引き続き配水管や施設の改良と耐震化、水道施設のマッピングシステム構築などを進めるほか、病院等の重要給水拠点施設の配水管等について、順次、整備・更新を行い、水道水の安定供給に努めてまいります。

なお、下水道事業及び農業集落排水事業、簡易水道事業の各特別会計におきましては、2020年4月からの地方公営企業会計への移行に向けた作業を進めるほか、上下水道料金の従量料金統一につきましても、引き続き作業を進めてまいります。

河川・排水路の整備につきましては、災害の未然防止に向けた取り組みとして、普通河川滝矢川の河川整備のほか、河川・排水路の堆積土砂や草木の除去などを行い、機能保全と維持管理に努めてまいります。

港の整備や賑わいづくりにつきましては、「みなとオアシス越後岩船」を核として、関係団体とともにイベントなどを通した港のにぎわいづくりと情報発信に努め、官民協働でみなとオアシスの活性化と利用促進を進めてまいります。また、船舶の安全航行のため、航路の漂砂埋没対策などの港湾機能の保全について、引き続き国や新潟県に対して要望してまいります。

地域の暮らしと活性化を担う道路として期待される日本海沿岸東北自動車道「朝日温海道路」の整備につきましては、関係各位のご協力により、山北地域につきましても用地交渉や契約が順調に進み、道路本体工事ではトンネル掘削工事や本線盛土・ボックス設置工事などが行われるにつれて、次第に工事進捗が目に見えるようになってまいりました。今後も早期開通に向け、本線工事の整備が更に加速していくよう、官民一体となった要望活動などの取り組みを進めてまいります。

また、暮らしと密着する生活道路や通学路につきましても、地域の要望や安全面に配慮しながら整備を進めるとともに、経年劣化が進む橋梁などの長寿命化を図るため、点検や計画の見直しをしながら、安全安心な道路環境の整備を図ってまいります。

次に生活交通の確保・充実についてであります。現在、主に新潟市内への通院に利用されている「村上市高速のりあいタクシー」につきましては、新たに新潟市民病院を乗降場所に追加することとしており、引き続き、運行時刻の見直しをしながら利便性の向上を図ってまいります。また、「山北地区のりあいタクシー」におきましては、山北徳洲会病院健康友の会で運行しております外来送迎サービスと連携し、買い物困難者対策を考慮した新たな運行を開始するなど、持続可能な公共交通を目指してまいります。

市街地と景観の整備・保全に関しましては、「村上市歴史的風致維持向上計画」に基づく外観修景工事費への助成を継続し、歴史的建造物の保存と歴史的街並みの形成によるにぎわいの創出を図ってまいります。

村上駅周辺まちづくり事業の推進につきましては、厚生連村上総合病院の移転新築用地である駅西地区へのアクセス性向上のため、引き続き幹線道路及び周辺道路の整備に取り組むとともに、駅前跡地の活用についても引き続き検討してまいります。

また、荒川地区で進めている都市計画道路「南中央線」整備事業につきましても、新潟県で実施している「東大通り線」整備事業との連携を図りながら整備を進めてまいります。

本市の住環境整備につきましては、木造一戸建て住宅の耐震化に対する支援を継続するとともに、公営住宅の適切な維持管理と長寿命化を図ってまいります。

空き家対策につきましては、地域や関係機関と連携しながら所有者等の適正管理を促し、管理不全な空き家の発生抑止に努めるとともに、空き家バンク事業におきまして、「空き家バンク移住応援補助金」や「独立行政法人住宅金融支援機構」と協定した融資制度「フラット35」をご利用いただくなど、移住者に向けた空き家の活用促進にも取り組んでまいります。

また、新たに策定した「村上市空き家等対策計画」に基づき、関係機関や民間事業者などとの連携強化を図りながら、空き家等の適正管理及び活用の促進について助言・指導を行うとともに、管理不全な空き家等については、その状態により「特定空家等」に認定し、緊急性等を十分考慮し対応してまいります。

## ■ 産業が創る地域の誇り、活力みなぎる賑わいのまちづくり

次に、「産業が創る地域の誇り、活力みなぎる賑わいのまちづくり」につきまして、主な取り組みについてご説明いたします。

本市の基幹産業である農業につきましては、「岩船米」の主産地として更なる品質の安定化や食味の向上に取り組みながら、産地としての一体感の醸成と国内外の新市場の開拓を図り、「売る米づくり」を推進してまいります。特に課題となっている農業の担い手対策については、地域との話し合いを十分行いながら農地の集積・集約を進めるとともに、基盤整備や生産コストの低減を図り、効率的で生産性の高い農業を目指します。

また、中山間地域の農村集落につきましても、問題となっている有害鳥獣対策を継続しながら、集落の魅力づくりや集落活性化を支援してまいります。

村上牛につきましては、生産者や関係団体と連携し、更なる高品質化とブランドの維持、出荷頭数向上の取り組みを進めてまいります。

豊富な食材は本市の魅力のひとつでもあります。生産地と全国の消費地を結ぶ機会を創出し、販路拡大と生産者の所得向上を目指す「食の村上ブランド推進事業」を国の地方創生推進交付金を活用して実施してまいります。

林業につきましては、本年4月から森林経営管理法が施行されることから、所有者に適切な森林管理を促すとともに、区域内の森林経営管理が円滑に行われるよう必要な対策を実施してまいります。

近年、戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎え、主伐や再造林、担い手の確保、木材利用の促進などに更なる取り組みが必要となっております。その費用に森林環境譲与税（仮称）を充てることとしており、今後の森林資源の利用促進に貢献するものと期待しているところであります。

また、平成 29 年度より着工した森林基幹道岩船東部線開設工事につきましては、円滑な工事推進のため、地域及び関係機関と連携しながら進めてまいります。

水産業につきましては、魚価低迷や漁業者の後継者不足などが続く状況となっておりますが、水産物の鮮度向上に対する施設整備や関係機関と連携した「白皇鮭」「越後本ズワイ」などのブランド力の向上や、「新規漁業就業者総合支援事業」などを活用して漁業への就業と定着を図り、漁業の活性化と本市水産物の魅力向上を総合的に推進してまいります。

内水面漁業におきましても、本市最大の特産品であり、本市のイメージを牽引する「鮭」などの資源増殖や「水産多面的機能発揮対策事業」の活用による河川環境と生態系保全に努めてまいります。

続いて、本市の商工業についてであります。本市の状況につきましては、人口減少による影響から各産業における人手不足が課題となっておりますが、市内産業の元気づくりや活性化支援に鋭意努力してきたところです。今後、更に持続・発展できる経営体の形成を目指し、産業支援プログラムや小規模事業者に重点を置く制度融資の見直しなどを行い、商工団体と連携した取り組みを進めてまいります。

また、企業進出や市内企業の規模拡大、中小企業の設備投資などに対し、空き地・空き工場バンクによる情報提供や村上市企業設置奨励条例、生産性向上特別措置法に基づく支援制度などを通じ、企業の経営ニーズに合わせた対応を行いながら市内企業の一層の事業拡大を支援してまいります。なお、10月に予定されております消費税の増税による市内経済への影響につきましては、動向を注視していかなければならないと考えております。

伝統的工芸品の振興につきましては、村上堆朱事業協同組合で実施している村上木彫堆朱の「後継者育成支援事業」が最終年となることから、更なる技術向上が図られるよう支援していくとともに、羽越しな布につきましても、地域おこし協力隊による技術継承などを通じ、後継者不足の解消につながる取り組みとなるよう進めてまいります。

観光誘客活動につきましては、本年10月から12月の間、「新潟県・庄内エリアアゲスティネーションキャンペーン」が、本市においても大きな魅力の一つである「食」をテーマにスタートします。これに合わせて、羽越本線の新潟から酒田間に新観光列車「海里」の運行が開始されるほか、「食」やおもてなしの質の高さから大変人気のある「トランスイート四季島」のお客様が、8月及び9月の各1回、本市にお立ち寄りいただくこととなりました。これらのまたとない機会に

SNSなどを活用した情報発信と「食」や特産品のPRを行いながら、関係市町村や県、鉄道事業者等と連携した誘客活動に努めてまいります。

また、昨年度就航した関西・新潟間のLCC運行に伴い、新潟空港から本市までの二次交通を運航している瀬波温泉旅館組合への支援を継続しながら、関西方面からの誘客についても引き続き取り組んでまいります。

個人旅行化が進む外国人旅行者に向けては、これまでも外国人記者によるメディアへの掲載や各国へ向けた情報発信を図りながら、本市観光の認知度の向上をめざしてきたところです。今後も引き続き訪日外国人の誘客活動につながる取り組みを進めてまいります。

観光施設整備につきましては、来訪者の満足度向上と地元活性化が図られるよう計画的に整備を進めることとしております。また、物産の振興につきましても、ふるさと村上応援寄附金のお礼品を活用し、本市特産品のPRに取り組んでまいります。

本市の就労環境の現状といたしましては、卒業後に就職を希望する高校生や若い求職者の減少が課題となっております。若者の市内就職を促進するため、ハローワークや岩船郡村上市雇用対策協議会との連携により、市内企業PRサイトの再構築や高校生向け就職説明会を開催するとともに、下越地域若者サポートステーションによる職業体験事業を実施することで、労働力の確保と雇用のミスマッチ解消に取り組んでまいります。

また、新潟県ハッピーパートナー企業への登録を推奨し、本市独自の「女性就労環境向上事業補助金」などを活用しながら、引き続き男女が共に働きやすい労働環境の拡大を目指してまいります。

## ■ いのちと故郷を絆で守る、安全安心なまちづくり

次に、「いのちと故郷を絆で守る、安全安心なまちづくり」につきまして、主な取り組みについてご説明いたします。

はじめに、消防・救急体制につきましては、消防資機材や消防車両の適正な維持管理と計画的な整備を行うとともに、救急救命士の養成や隊員の高度教育を実施するなど、消防救急体制の強化を図ってまいります。

また、地域防災において中心的役割を担う消防団活動の維持・強化のため、市内の企業や事業所からご理解、ご協力をいただきながら、引き続き消防団員の確保に努めてまいりたいと考えております。

防災体制の充実につきましては、昨年、本市も多くの災害に見舞われ、市民の生命を確実に守るという信念のもと、避難指示や避難勧告を迅速に発令し、多く



の市民にご協力いただいたところです。幸い人的被害はありませんでしたが、昨今頻発する自然災害に対し、洪水ハザードマップなどを活かした説明会や研修会などを行いながら、市民の防災意識の向上を図る必要があると考えております。一方、行政業務においては、行政庁舎が被災した場合においても業務継続ができるよう「災害時業務継続計画」の早期策定を目指すとともに、今後も地理的条件や実情に即した村上市地域防災計画の見直しを行ってまいります。

また、地域防災力の向上のため、自主防災組織や防災士の育成を更に進めると同時に、防災士のスキルアップ、情報の共有や連携の強化を目的に、今年3月に「村上市防災士会」が発足する運びとなりました。私としても非常に心強く、地域防災の中心的組織となることを期待しているところであります。

現在、国は国土強靱化として防災・減災のための対策を強く推し進めている状況でありますので、引き続き国や県のご協力を得ながら防災対策を進め、なお一層災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

防犯対策につきましては、犯罪の発生件数が減少傾向にあるものの、振り込め詐欺などの特殊詐欺や架空請求などが数多く発生しております。引き続き、警察及び関係団体等との連携を強めるとともに、事故や犯罪を未然に防ぐ取り組みや防犯意識の高揚に努めてまいります。

また、防犯灯のLED化や適切な維持管理を行うことにより、夜間の歩行者の安全や安心の確保に引き続き取り組んでまいります。

近年の交通事故件数は減少傾向にあり、昨年の市内交通事故発生件数については前年を下回ったものの、死亡交通事故は増加する結果となりました。引き続き、交通ルールやマナーの遵守について関係機関等と啓発活動を行いながら、更なる交通事故防止に努めてまいります。

## ■ 伝統と文化を育む、すこやか郷育さといくのまちづくり

つづきまして、「伝統と文化を育む、すこやか郷育のまちづくり」について、主な取り組みについてご説明いたします。

学校教育につきましては、学校と保護者、地域住民が子どもの教育に対する課題や目標を共有し、学校と地域が連携・協働しながら学校運営を考えていくため、市内3中学校区に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール事業に取り組んでまいります。

学力向上対策においては、中学生の家庭学習の習慣化を促すため、放課後学習事業を全中学校で実施するとともに、外国語指導助手や非常勤講師、学校図書館司書の配置、英語検定料の補助などの学習支援策を実施します。

また、中学校の部活動指導員制度を新設するほか、介助員の配置など一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育や、将来の人材育成のためのキャリアスタートウィーク事業、平和学習の充実のための広島平和記念式典派遣事業、若者定住促進のための本市奨学金の返還支援制度などを引き続き実施してまいります。

教育環境につきましては、学校統合する子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう万全の準備を進めるとともに、すべての小中学校の普通教室を中心に冷房設備を設置し、良好な学習環境の整備を進めてまいります。

生涯を通じた学習の推進につきましては、次代を担う子どもたちの健全な育成と、それを支える大人たちの主体的な学びを促進するため、市内小中学校との連携による家庭教育支援事業の実施やライフステージに合わせた学びの導入に努めてまいります。

本年5月1日には荒川地区公民館が開館します。新たに学習室やキッズスペースなどを設置しますので、これまで以上に市民の交流の場として活用されることを期待しているところです。

また、2020年度で計画期間を終える「村上市子ども読書活動推進計画」について、第2次計画の策定に向けた準備を進め、子どもたちの読書環境の向上に努めてまいります。

文化財の保存活用と芸術・文化の振興につきましては、「村上城跡保存活用計画」を策定するほか、平林城跡と合わせて市民共有の財産を後世に伝えていくために、史跡の整備・保存を進めてまいります。

また、本年9月から11月に「第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭」が新潟県内各地で行われます。本市では「全日本健康マージャン交流大会」を実施するほか、市単独で「むらかみ伝統芸能を考える集い」を開催し、地域文化の発信や活性化、障がいのある方とない方の交流を通じた多様性社会の理解につなげてまいりたいと考えております。

生涯スポーツと競技スポーツの推進につきましては、我が国にとっても大きなスポーツ競技のランドマークとなる「村上市スケートパーク」が本年4月にオープンします。国内最大級の屋内スケートパークとしての特徴を最大限に活かし、国内外の大会や練習の拠点として誘致活動を行いながら、本市にアスリートや愛好者が集う「スケートボードの聖地」創造を目指してまいります。

また、市民が気軽にスポーツ活動が行えるよう、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体と連携し、市民の健康増進や体力向上に取り組むとともに、良好なスポーツ環境の整備にも取り組んでまいります。

## ■ ひとりひとりが活躍する、市民が主役のまちづくり

次に、「ひとりひとりが活躍する、市民が主役のまちづくり」について、本年度の主な取り組みについてご説明いたします。

はじめに、平等社会の推進につきましては、部落差別問題をはじめ、いじめやインターネット上での人権侵害が問題となる中、あらゆる差別や人権侵害をなくし、ひとりひとりが認め合う平等社会の実現のため、引き続き人権に関する啓発に努めてまいります。

また、男女共同参画社会の実現に向けては、男女がともに認め合い、支え合うまちを目指して策定した「第2次村上市男女共同参画計画」に基づく取り組みを推進してまいります。

市民の皆さまに多大なご協力をいただきながら進めている「協働のまちづくり」につきましては、各地域まちづくり組織の皆さまが、地域に根差した特色ある取り組みを展開されておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。そのような中、地域や集落の現状や課題を分析し、地域課題の解決につなげていこうとする取り組みが生じてきたことに大きな期待をしているところであります。今後も、このような住民主体のまちづくり活動を市としてバックアップしてまいりたいと考えております。

また、地域の担い手や集落活性化のためのプランナーとして配置を行っている「地域おこし協力隊」に加え、「集落支援員」も効果的に組み合わせながら、地域力向上と集落の維持強化を目標に、元気で活力のある地域づくりを支援してまいります。

広報広聴事業につきましては、昨今、スマートフォンの普及から誰もが手軽に最新の情報を得ることが可能となっており、市民に早く正しい情報や魅力的な話題を伝えていくため、「市報むらかみ」の効果的な紙面づくりとともに、ホームページ、SNSを活用したスピーディーな情報発信に努めてまいります。

本市情報化の推進につきましては、年々悪質となるインターネットを介した攻撃に対し、セキュリティの強化を図るため、昨年度から市内のインターネット接続を新潟県のセキュリティアラウドを通じた通信方式へ移行しました。本市の業務もコンピュータシステムによるものが多くを占めているため、更なる安全性を確保しながら安定的な運用に努めてまいります。

次に、本市の行財政改革に関しましては、年々自治体業務が複雑化し、求められるニーズが多方面に及ぶ状況ではありますが、自治体として効率的でスリムな体

制としていくことも求められております。限られた体制で更なる業務効率化に取り組むとともに、職員研修や人事評価制度を最大限に活用しながらスキルアップを行い、行政サービスの向上に取り組んでまいります。

行政組織につきましては、複雑かつ多様化する子育て世代の支援体制を強化するため、「こども課」を新設するほか、硬直化している財政状況を克服しながら行財政運営と政策実行を同期させていくため、管理部門である政策推進課の企画業務及び統計業務を財政課と統合し、「企画財政課」といたします。また、今後、マイナンバー（個人番号）を利活用した新たな行政サービスの充実を全庁的に推進していくため、情報化推進業務を総務課に移管し、より効率的でレスポンスの良い組織体制を目指してまいります。

広域行政の推進につきましては、関川村・栗島浦村との定住自立圏の形成に基づく各事業を実施していくとともに、昨年協定締結した新潟市や大洗町など、観光と交流、災害応援などを核とした他自治体との連携協力も進めてまいりたいと考えているところです。

以上が私の市政運営にあたっての所信と平成 31 年度の主な事業概要であります。

本年は平成最後の年、そして本市ゆかりの皇太子妃殿下雅子様が皇后陛下となられる記念すべき新時代の幕開けの年でもあります。

地方にとっては大変厳しい状況の中で、将来を見据えて本市をどう持続し、進化させていくかを見定め、新たな時代を切り開いていかねばならないと強く思うところであります。

私たちの故郷「村上市」を希望と笑顔があふれるまちとして次の時代へつないでいくため、私は先頭となって困難な状況に立ち向かう所存でありますので、市民の皆さまと議員各位におかれましては、特段のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。